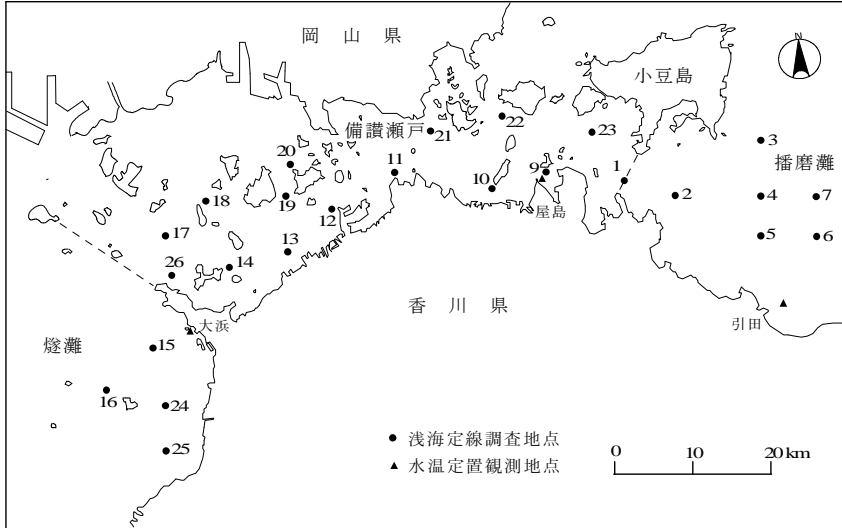


# 香川県漁海況情報 平成25年10月 (H25-7号)

香川県水産試験場

## 1. 海況

### 1) 観測地点



### 2) 浅海定線調査

#### (1) 調査日

平成25年10月1,2日(備讃瀬戸, 燧灘), 3日(播磨灘) \*2日は水温と塩分の観測のみ

#### (2) 水質概況

平年と比較すると、水温は「平年並み」から「やや高め」、塩分は「やや低め」から「平年並み」、透明度は「やや高め」から「著しく高め」、溶存酸素は「著しく低め」から「かなり高め」であった。燧灘では海域の一部で海底の溶存酸素が低かった。

10月

		水温 (°C)			塩分 (PSU)			透明度 (m)	溶存酸素 (ml/l)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層		表層	底層
播磨灘	7地点平均値	25.3	25.2	24.9	31.0	31.0	31.4	9.4	4.74	3.52
	平年値	25.1	25.0	24.9	31.7	31.8	31.9	7.0	4.39	4.10
	平年偏差	0.1	0.2	0.0	-0.7	-0.8	-0.5	2.4	0.35	-0.57
	標準偏差(σ)	0.7	0.7	0.7	0.8	0.7	0.7	2.5	0.31	0.44
	状況	平年並み	平年並み	平年並み	やや低め	やや低め	やや低め	やや高め	やや高め	やや低め
備讃瀬戸	14地点平均値	25.7	25.6	25.6	31.0	31.0	31.0	7.4	4.73	4.48
	平年値	24.9	24.8	24.8	31.6	31.7	31.7	4.0	4.25	4.17
	平年偏差	0.8	0.8	0.8	-0.6	-0.6	-0.6	3.4	0.48	0.32
	標準偏差(σ)	1.1	1.1	1.1	1.0	0.9	0.9	1.6	0.35	0.33
	状況	やや高め	やや高め	やや高め	やや低め	やや低め	やや低め	著しく高め	かなり高め	やや高め
燧灘	4地点平均値	26.1	25.6	25.3	31.5	31.6	31.8	10.9	4.43	2.10
	平年値	24.8	24.6	24.5	31.9	32.1	32.2	7.8	4.67	4.06
	平年偏差	1.3	1.0	0.8	-0.4	-0.5	-0.4	3.1	-0.24	-1.95
	標準偏差(σ)	1.3	1.2	1.2	0.8	0.8	0.7	2.8	0.43	0.73
	状況	やや高め	やや高め	やや高め	平年並み	やや低め	平年並み	やや高め	平年並み	著しく低め

平年偏差 = 平均値 - 平年値

平年値の算出期間

水温, 塩分及び透明度: 昭和56年(1981)1月~平成22年(2010)12月

溶存酸素: 昭和56年(1981)2月~平成22年(2010)12月

水温は, 毎月1日の値に補正。

- 平年並み  $0\sigma \leq \text{平年偏差} < 0.6\sigma$  ( $\sigma$ : 標準偏差)
- やや高め (やや低め)  $0.6\sigma \leq \text{平年偏差} < 1.3\sigma$
- かなり高め (かなり低め)  $1.3\sigma \leq \text{平年偏差} < 2.0\sigma$
- 著しく高め (著しく低め)  $2.0\sigma \leq \text{平年偏差}$

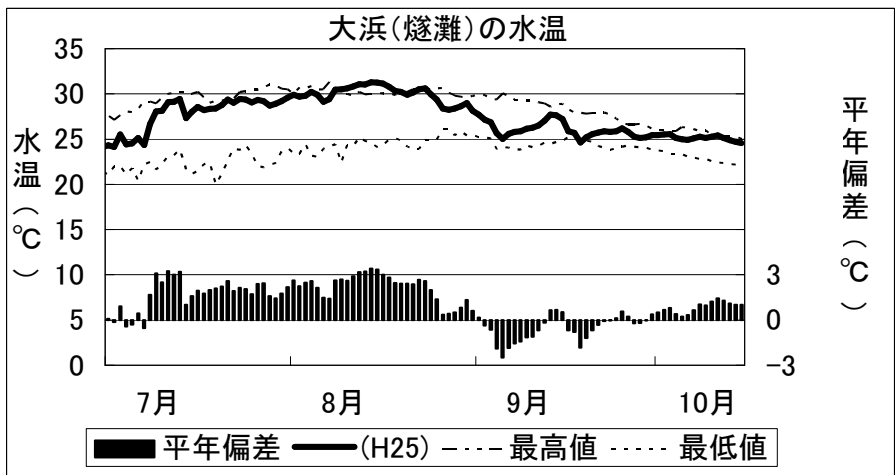
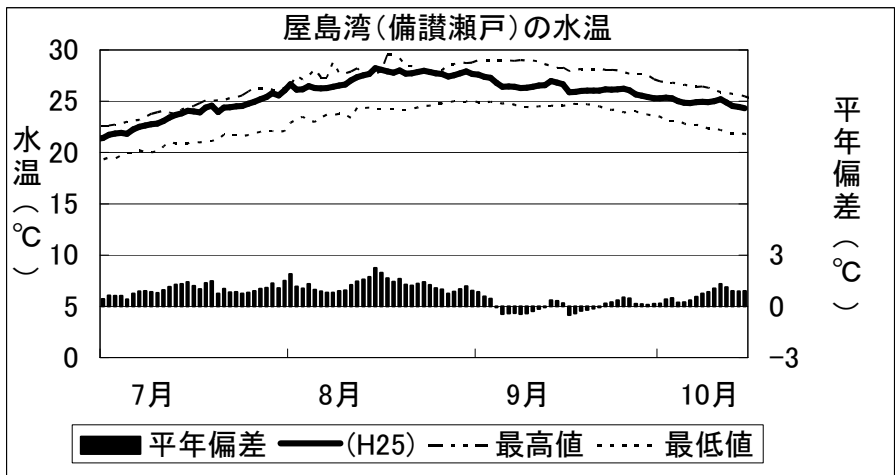
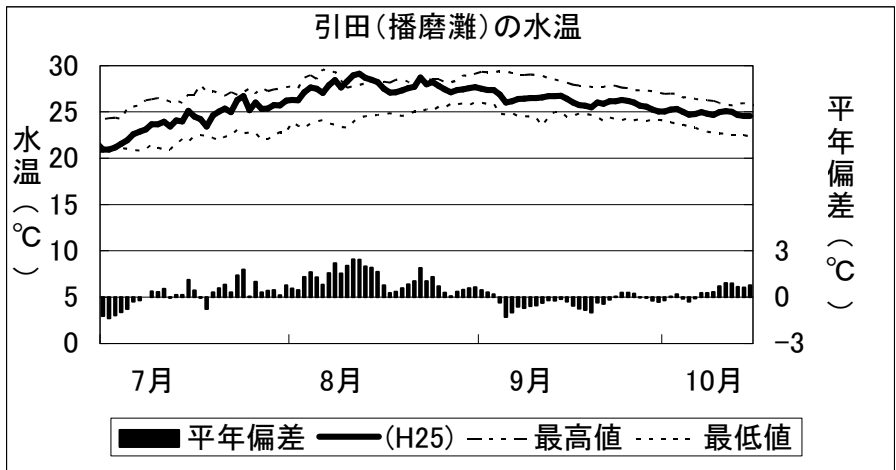
### 3) 定置観測 (水温)

播磨灘 (引田)：7月はかなり低めから平年並み、8月は平年並みから著しく高め、9月はやや低めから平年並み、10月は平年並みからやや高めで推移している。(8月中旬に5日、下旬に1日過去最高値を更新。)

備讃瀬戸 (屋島)：7月はやや高めからかなり高め、8月はやや高めから著しく高め、9月は概ね平年並み、10月は平年並みからかなり高めで推移している。(8月上旬に1日、中旬に3日過去最高値を更新。)

燧灘 (大浜)：7月は平年並みから著しく高め、8月はやや高めから著しく高め、9月は平年並みから著しく低め、10月は平年並みからかなり高めに推移している。(9月中旬に1日、過去最低値を更新。8月上中旬に11日、10月中旬に1日過去最高値を更新。)

平年値の算出期間 引田及び大浜：平成元 (1989) ~平成 24 (2012) 年  
屋島：昭和 50 (1975) ~平成 24 (2012) 年



#### 4) 赤潮 (9月20日～10月19日)

播磨灘：9月22日に東かがわ市沖で *Mesodinium rubrum* による赤潮が確認された。

備讃瀬戸：発生無し

燧灘：発生無し

#### 5) 卵稚仔

調査日：平成25年10月1日 (備讃瀬戸, 燧灘), 3日 (播磨灘)

出現量

－：平年値が0の場合を示す。(その他の魚類については平年値がない。)

平年値の算出期間

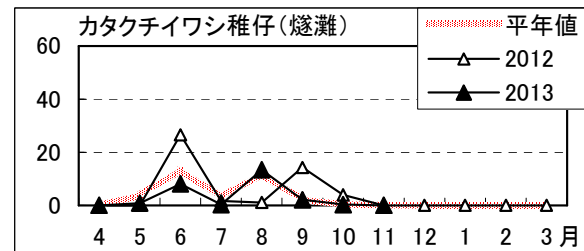
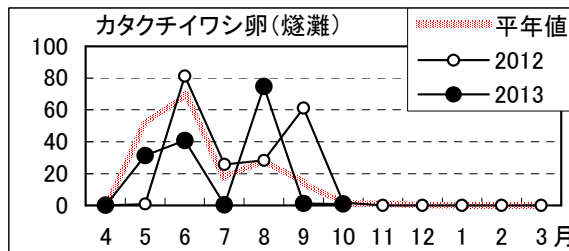
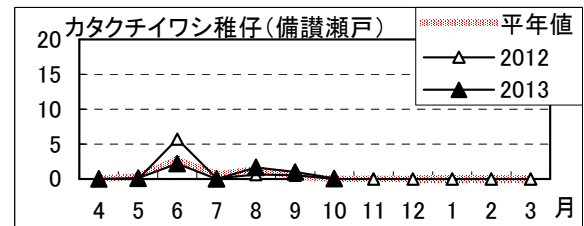
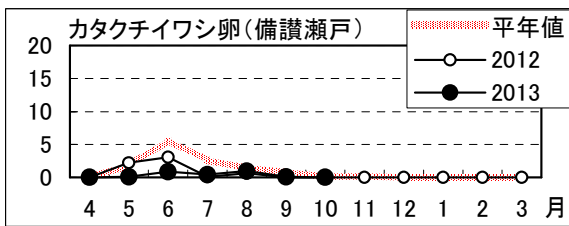
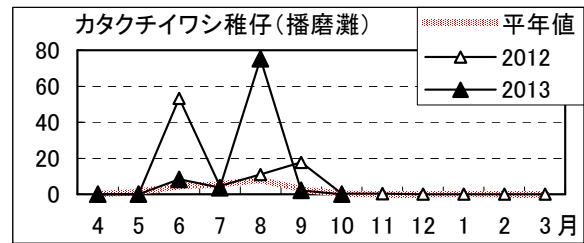
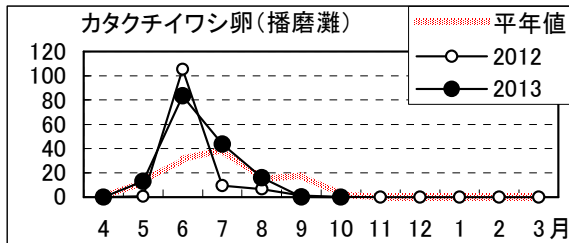
カタクチイワシ：昭和55(1980)年度～平成23(2011)年度

マイワシ：平成6(1994)年度～平成23(2011)年度

イカナゴ：昭和56(1981)年度～平成23(2011)年度

		カタクチイワシ		マイワシ		その他の魚類	
		卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘	平均値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	1.9
	平年値	2.1	0.2	0.0	0.0		
	対平年(%)	0.0	0.0	－	－		
備讃瀬戸	平均値	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1
	平年値	0.1	0.0	0.0	0.0		
	対平年(%)	0.0	846.2	－	－		
燧灘	平均値	0.9	0.3	0.0	0.0	0.1	0.9
	平年値	1.4	0.3	0.0	0.0		
	対平年(%)	61.4	111.6	－	－		
総平均	平均値	0.2	0.1	0.0	0.0	0.1	0.7
	平年値	0.9	0.1	0.0	0.0		
	対平年(%)	0.2	79.7	－	－		

\*マイワシの卵・稚仔は、平成14年度以降、確認されていません。



## 2. 漁況

### 1) 9月からの漁況は次のとおりである。

海 域	漁 況
播 磨 灘	<p>底びき網ではハモ、マダイ、シズ（イボダイ）、クルマエビ、アシアカ（クマエビ）などが漁獲されている。</p> <p>建網ではガザミが漁獲されている。</p> <p>柵網ではマアジ、マルアジ、カワハギ、シズ（イボダイ）、アカカマス、ヤマトカマス、スズキ、イシダイ、ウマヅラハギ、ツバス、マダイ、アオリイカ、コウイカ、アイゴ、タチウオ、コノシロ、イヌノシタ、エソなどが漁獲されている。</p>
備 讃 瀬 戸	<p>底びき網ではマダイ、クロダイ、メイタガレイ、コウライアカシタビラメ、ヒラメ、キュウセン、ピングシ（セトダイ）、コイチ、シロギス、トラギス、ネズツポ類、マアナゴ、スズキ、マアジ、マルアジ、カワハギ、シズ（イボダイ）、オニオコゼ、ガザミ、クルマエビ、小エビ類、マダコ、イイダコ、アオリイカ、コウイカ、ベイカ（ジンドウイカ）、アカニシなどが漁獲されている。</p> <p>例年に比べ、小エビ類が少なく、イカ類が多い。イイダコは例年並み。</p> <p>建網ではマダイ、クロダイ、メバル、カサゴ、キジハタ、オニオコゼ、ピングシ（セトダイ）、ウミタナゴ、ガザミなどが漁獲されている。</p>
燧 灘	<p>底びき網ではハモ、小エビ類、コウイカ、アカカマス、クルマエビ、ガザミ、メイタガレイ、クロダイ、ウシノシタ類、マダコ、シャコ、タチウオ、マルアジ（小）、シロギス、マナマコ、マアナゴ、スズキ、マダイなどが漁獲されている。</p>

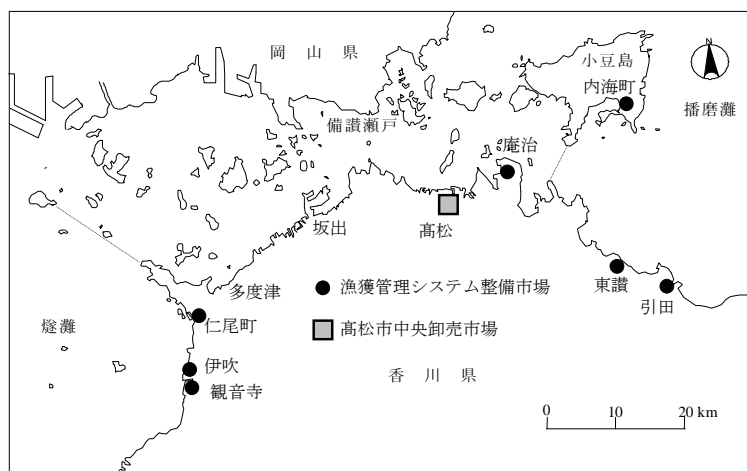
## 2) 香川県の漁獲情報

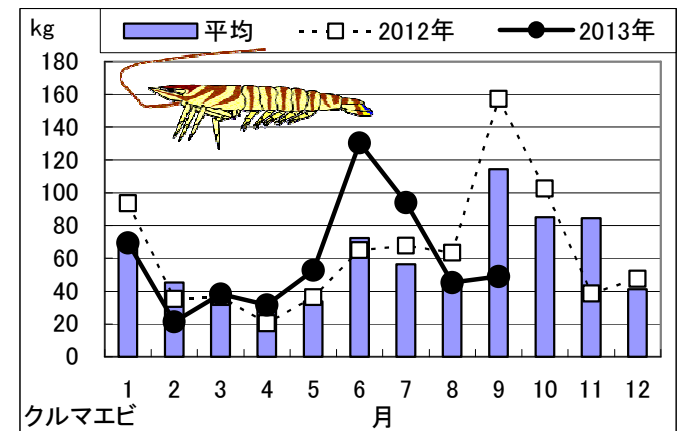
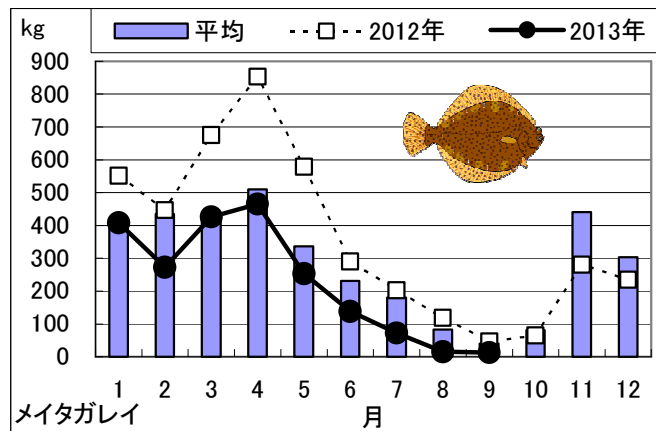
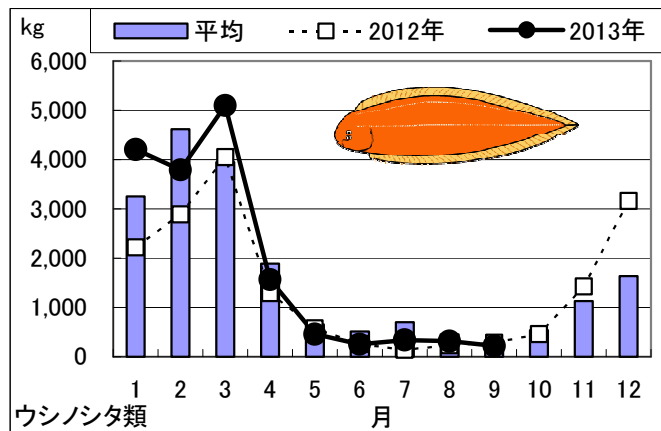
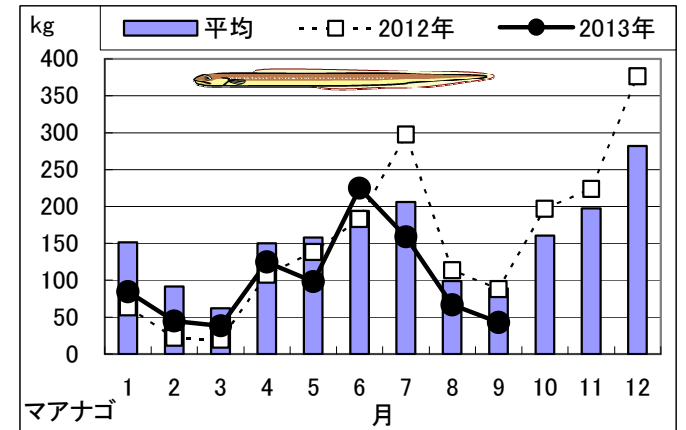
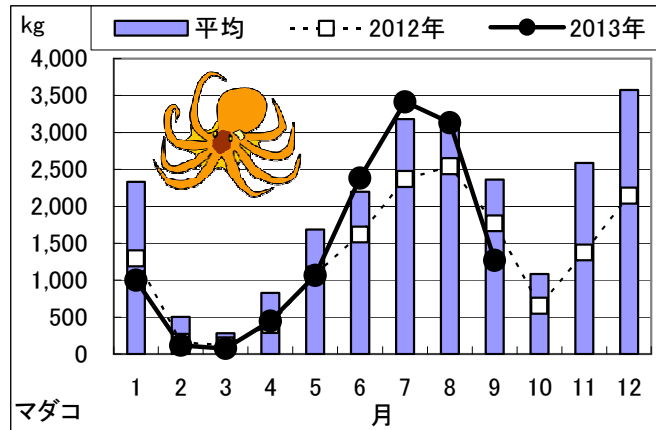
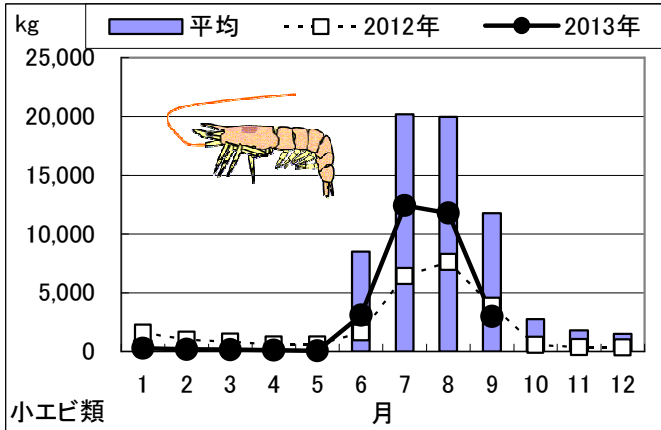
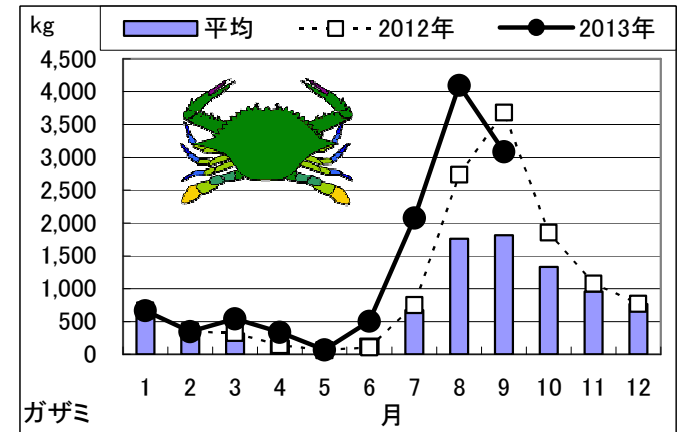
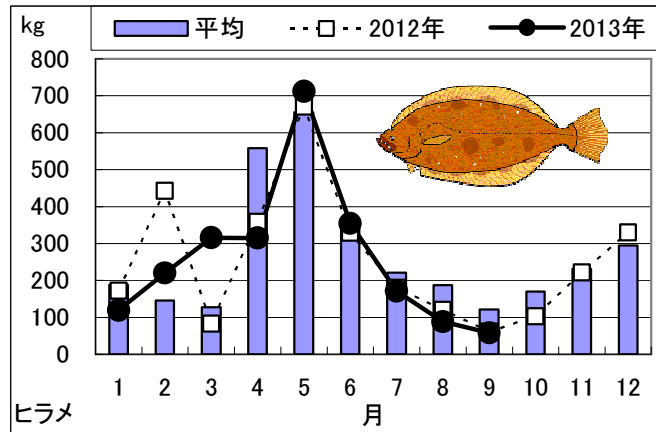
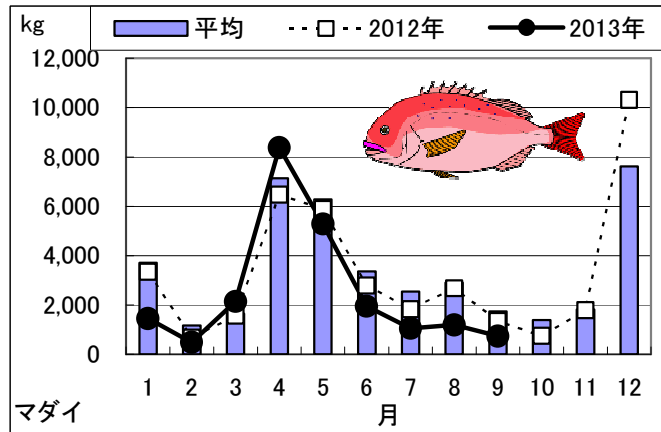
### (1) 漁獲管理（TAC）システムデータ

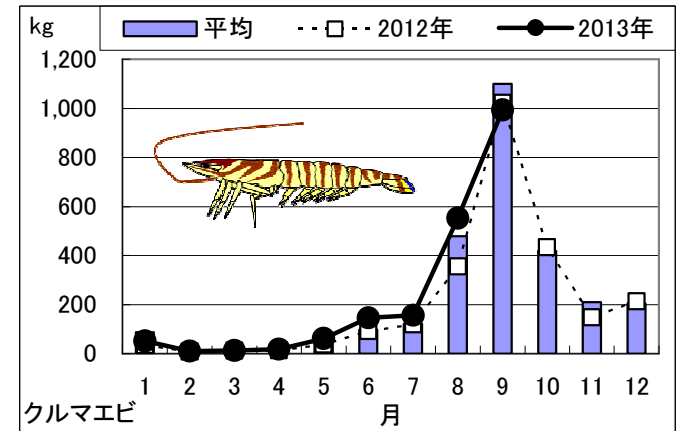
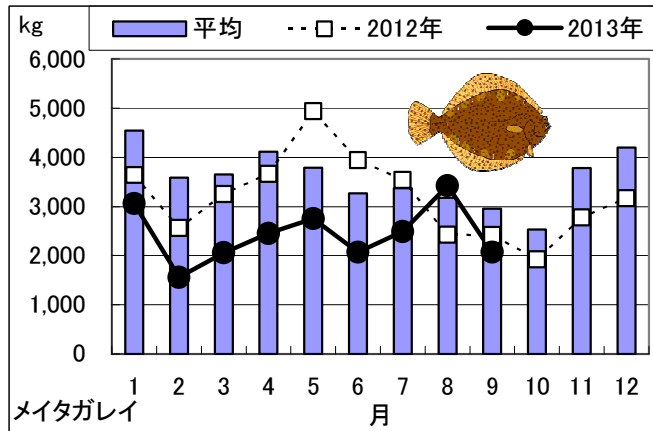
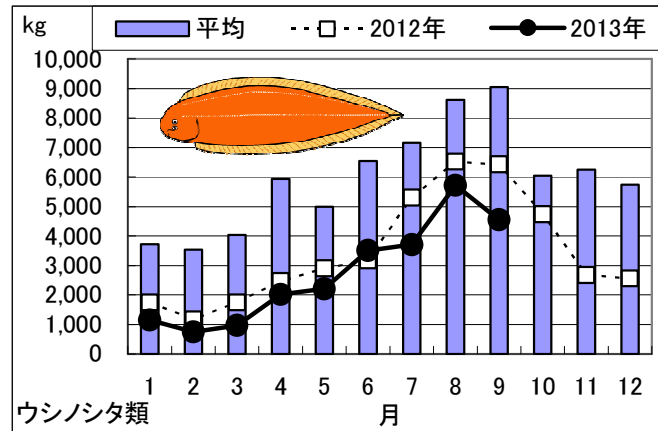
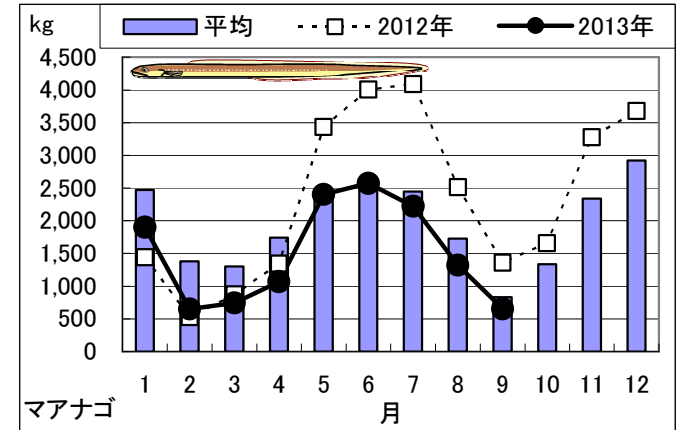
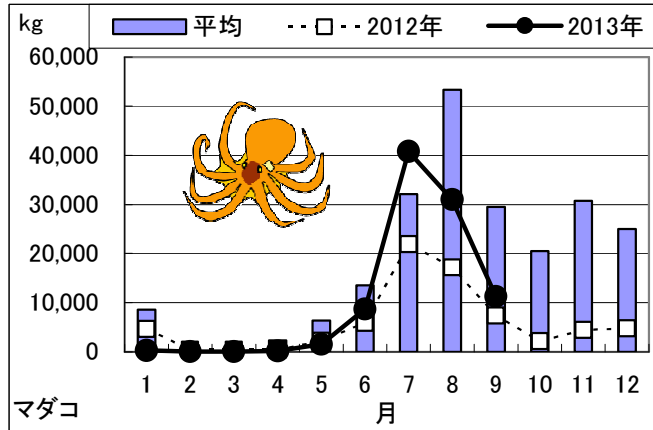
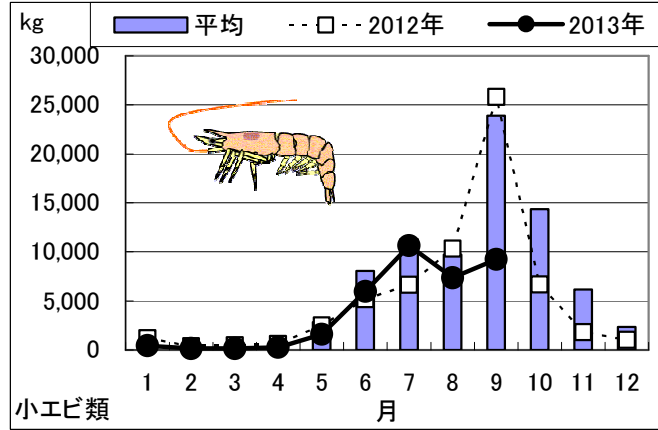
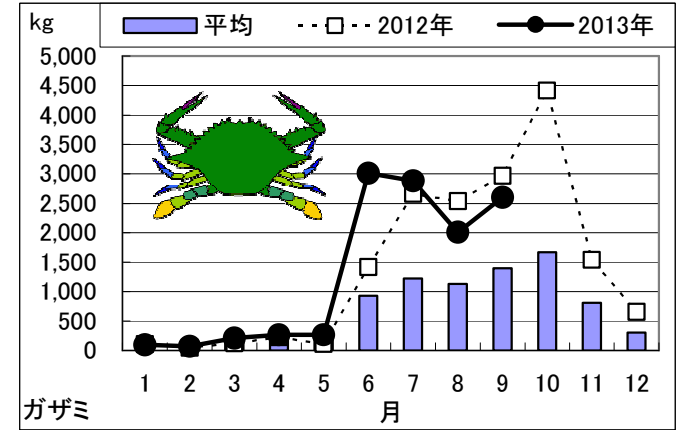
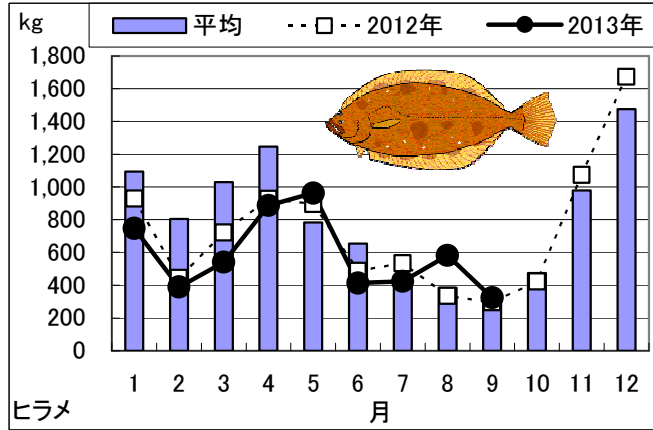
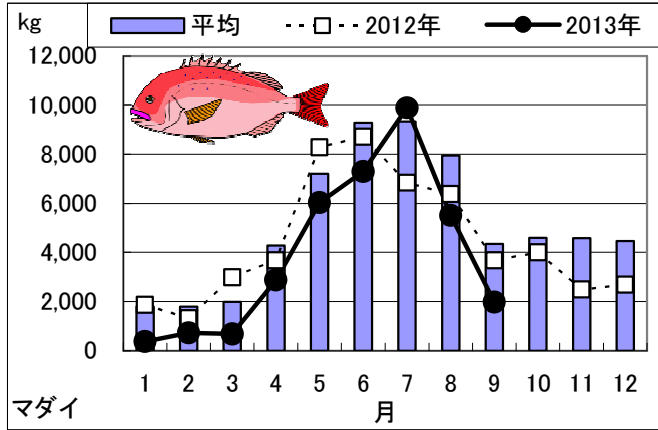
日本周辺の生物資源を適切に管理保存するためのTAC(漁獲可能量)を迅速に把握することを目的とした漁獲情報システムで、本県では以下の産地市場に整備している。

### (2) 高松市中央卸売市場データ

水産物のうち生鮮水産物（香川県全体からの集荷物）について、高松市中央卸売市場のホームページで公開されている情報を水産試験場で集計したもの。







燧灘（仁尾町、観音寺、伊吹）のTACデータより

平均値は、2008年から2012年の5年間の平均。

